



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	4,690	△20.9	△261	—	△206	—	△204	—
28年9月期第3四半期	5,927	7.5	△2	—	26	446.2	△7	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △222百万円 (—%) 28年9月期第3四半期 7百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△57.63	—
28年9月期第3四半期	△1.99	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,633	3,674	62.1
28年9月期	5,079	3,958	73.7

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 3,495百万円 28年9月期 3,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年9月期	—	0.00	—		
29年9月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△1.5	100	△41.4	160	△28.1	80	△29.8	22.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年9月期3Q	3,703,700株	28年9月期	3,703,700株
29年9月期3Q	116,064株	28年9月期	162,564株
29年9月期3Q	3,554,526株	28年9月期3Q	3,554,463株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は総じてみれば持ち直しの動きが続いており、一部に改善の遅れもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。

ソフトウェア業界におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、全体としては底堅く推移しております。

当社グループ(当社及び当社の関係会社)が事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、昨年4月の診療報酬改定率が本体部分で0.49%の引き上げとなるものの、全体で1.03%の引き下げとなる中、「地域医療構想」の策定が進められ、病床機能の再編に向けた取り組みが医療機関に求められており、医療機関を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。一方、早期に住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう、各医療機関の連携を推進するための評価基準が新設されるなど、より一層地域包括ケアシステム[1]推進のための取り組みが行われております。

また、医療情報システムに関する国策として、「日本再興戦略2016」によりビッグデータを利用した診療支援やICT[2]利用が推進されており、2020年までに400床以上の一般病院における電子カルテ普及率を90%とする具体的目標が設定されるなど、今後も医療の質向上や効率化に寄与する電子カルテシステム[3]の普及が期待されております。

このような状況の中、当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・I s(ミライズ)シリーズ」におきましては、積極的な販売活動に取り組み、受注状況は回復基調にあるものの、平成29年6月末のユーザー数は、前期末より14件増加の754ユーザーにとどまり、売上高は低調に推移いたしました。利益面におきましても、売上高の減少により利益率が悪化し、加えて一部子会社における固定資産の減損損失もあり厳しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,690百万円(前年同期比20.9%減)、売上総利益は881百万円(前年同期比14.5%減)、営業損失は261百万円(前年同期営業損失2百万円)、経常損失は206百万円(前年同期経常利益26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は204百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円)となりました。また、受注状況につきましては、受注高5,444百万円(前年同期比26.9%増)、受注残高2,693百万円(前年同期末比63.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、第2四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しております。

このため、前年同期との比較については、前年同期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

[医療システム事業]

クラウド版電子カルテシステム「MI・RA・I s/PX For Cloud」[4]を含めた「MI・RA・I s(ミライズ)シリーズ」の販売面強化はもとより、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」[5]の活動などを通じてユーザーニーズの把握に努め、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図るとともに、「MI・RA・I sシリーズ」新製品の研究開発活動に注力してまいりました。

また、政府が推進する地域包括ケアシステムの構築を見据え、医療と介護分野における連携システム[6]の販売や一部地域での構築支援にも着手いたしました。

一方、地域中核病院を中心とした受託開発・導入作業の他、医療機関のシステム運用・管理を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める医療システム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高5,402百万円(前年同期比26.6%増)、受注残高2,671百万円(前年同期末比62.0%増)、売上高4,650百万円(前年同期比20.7%減)、セグメント損失229百万円(前年同期セグメント利益12百万円)となりました。

〔その他〕

ヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」においては、大手医療系まとめサイトの信用問題や検索ルールの大幅変更などの環境変化に対応するため、提供価値や集客手段の見直しが必要な状況となりました。その他、クラウドデジタルサイネージ[7]システムについては、公共及び商業施設向けの販売に努めてまいりました。

その他の業績につきましては、受注高41百万円（前年同期比69.5%増）、受注残高21百万円（前年同期末比598.4%増）、売上高39百万円（前年同期比34.4%減）、セグメント損失33百万円（前年同期セグメント損失38百万円）となりました。

- [1] 地域包括ケアシステム 政府が構築を推進している、地域の包括的な支援・サービス提供体制。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。
- [2] ICT Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。
- [3] 電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省（当時）が容認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システム等から構成されている。なお、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬などの指示（オーダー）を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。
- [4] MI・RA・Is/PX For Cloud 電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」は、通常病院内にサーバーを設置し、運用するが、そのサーバーを病院の外に設置し、貸し出すことで、擬似的なクラウド環境を提供するもの。
- [5] MI・RA・Isユーザーフォーラム 電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、見学会や情報交換会などの活動を定期的に行っている。
- [6] 当社が扱うシステムとしては、「れんさく君」（医療機関における地域連携室の退院・転院調整業務をWebサービスで支援する地域連携室支援サービス）、「かかりん」（医療機関と患者、その家族を結ぶ新サービス）、「安タッチ」（高齢者向け安否／安心連絡システム）などがある。
- [7] デジタルサイネージ 液晶やLEDディスプレイを用いた電子看板。紙にくらべて様々なコンテンツを届けられることから、近年その普及が急速に進んでいる。当社グループでは、医療機関向け「MI・RA・Is/Signage」と公共及び商業施設向け「DJ-Signage」を取り扱っている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が453百万円減少したものの、現金及び預金が351百万円、仕掛品が344百万円、のれんが187百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ837百万円増加いたしました。これは主に買掛金が147百万円減少したものの、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が843百万円、賞与引当金が89百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失204百万円の計上及び剰余金の配当70百万円などによるものです。

この結果、自己資本比率は62.1%（前連結会計年度は73.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されております。

当社グループはこのような環境の中、医療システム事業におきまして、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組んでまいります。また、本年8月より電子カルテシステム新製品「MI・RA・I s/AZ (ミライズエージー)」[8]の販売を開始しました。

その他におきましては、ヘルスケア関連情報サイトの見直し及びクラウドデジタルサイネージの販売に努めてまいります。

当社グループは、ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

平成29年9月期の連結業績見通しにつきましては、積極的な販売活動に取り組み、受注状況は回復基調にあるものの、売上高は低調に推移し、利益面におきましても、利益率の悪化と減損損失の計上により、平成28年11月7日発表の「平成28年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日発表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

[8] MI・RA・I s/AZ 「MI・RA・I sシリーズ」新製品。より使いやすく、より診療に貢献できるシステムとなるよう「MI・RA・I sシリーズ」で多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上などの実現に寄与する。2025年に向けて整備が進められている地域包括ケアシステムにおいて医療機関が担う役割をICTの面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医などの医療機関、介護、福祉などの施設や、在宅にて治療を進める患者や家族など、ヘルスケア分野全領域(All Zone)との連携を進めることを目標としている。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,161,077	1,513,057
受取手形及び売掛金	1,409,155	955,516
商品及び製品	642	3,308
仕掛品	147,928	492,063
原材料及び貯蔵品	566	1,505
その他	102,610	199,929
貸倒引当金	△711	△1,358
流動資産合計	2,821,268	3,164,023
固定資産		
有形固定資産	347,907	327,115
無形固定資産		
のれん	-	187,116
その他	89,409	70,524
無形固定資産合計	89,409	257,640
投資その他の資産		
関係会社株式	1,085,901	1,096,899
その他	735,752	788,690
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	1,821,214	1,885,150
固定資産合計	2,258,531	2,469,906
資産合計	5,079,799	5,633,930
負債の部		
流動負債		
買掛金	535,456	387,928
1年内返済予定の長期借入金	124,254	234,566
未払法人税等	19,180	891
賞与引当金	71,971	161,693
その他	148,689	199,220
流動負債合計	899,550	984,300
固定負債		
長期借入金	138,000	870,999
退職給付に係る負債	33,835	56,926
その他	50,218	46,871
固定負債合計	222,054	974,796
負債合計	1,121,605	1,959,097

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,163,154	1,162,443
利益剰余金	1,563,077	1,281,264
自己株式	△118,938	△84,917
株主資本合計	3,743,884	3,495,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449	522
その他の包括利益累計額合計	449	522
新株予約権	2,650	2,157
非支配株主持分	211,210	176,771
純資産合計	3,958,194	3,674,832
負債純資産合計	5,079,799	5,633,930

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,927,943	4,690,205
売上原価	4,897,050	3,808,731
売上総利益	1,030,893	881,473
販売費及び一般管理費	1,033,224	1,143,132
営業損失(△)	△2,330	△261,658
営業外収益		
受取利息	398	258
受取配当金	2,700	3,000
投資事業組合運用益	271	234
持分法による投資利益	22,777	45,602
その他	6,332	8,246
営業外収益合計	32,480	57,341
営業外費用		
支払利息	3,104	2,457
その他	225	-
営業外費用合計	3,329	2,457
経常利益又は経常損失(△)	26,819	△206,774
特別利益		
新株予約権戻入益	63	-
特別利益合計	63	-
特別損失		
減損損失	-	25,757
持分変動損失	2,504	604
特別損失合計	2,504	26,362
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,378	△233,136
法人税、住民税及び事業税	49,352	8,923
法人税等調整額	△28,623	△17,457
法人税等合計	20,729	△8,534
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,649	△224,602
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,069	△204,863
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	10,719	△19,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,417	2,323
その他の包括利益合計	3,417	2,323
四半期包括利益	7,066	△222,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,652	△202,539
非支配株主に係る四半期包括利益	10,719	△19,738

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社システム情報パートナーの全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,867,284	60,659	5,927,943	—	5,927,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,867,284	60,659	5,927,943	—	5,927,943
セグメント利益又は損失(△)	12,990	△38,036	△25,046	22,715	△2,330

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額22,715千円は、セグメント間取引消去121,705千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△98,990千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,650,384	39,820	4,690,205	—	4,690,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,650,384	39,820	4,690,205	—	4,690,205
セグメント利益又は損失(△)	△229,380	△33,284	△262,664	1,006	△261,658

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,006千円は、セグメント間取引消去122,846千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△121,840千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間において、主として医療機関における情報システムの運用管理業務を事業とする株式会社システム情報パートナーの全株式を取得し、第1四半期連結会計期間末より当社の連結の範囲に含めております。

病院等の客先に社員が常駐する同社の事業は、当社の主力事業である医療機関向け電子カルテシステムとその関連製品の導入・販売とは大きく異なるため、第2四半期連結累計期間より、従来の「電子カルテシステム事業」に株式会社システム情報パートナーの営む事業及び「その他」としていた医療関連製品・サービス等を含め、報告セグメントを「医療システム事業」に変更いたしました。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称及び区分方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、当初予定していた収益を見込めなくなったことから、株式会社Mocokuの固定資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては25,757千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社システム情報パートナーの取得によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては187,116千円であり、「医療システム事業」に帰属しております。

また、医療システム事業のセグメント損失(△)には、のれんの償却額9,848千円が含まれております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	4,174,824	80.3
その他(千円)	22,785	94.4
合計(千円)	4,197,610	80.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 4 第2四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しております。なお、前年同期との比較については、前年同期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療システム事業	5,402,887	126.6	2,671,648	162.0
その他	41,388	169.5	21,922	698.4
合計	5,444,276	126.9	2,693,570	163.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 第2四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しております。なお、前年同期との比較については、前年同期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	4,650,384	79.3
その他(千円)	39,820	65.6
合計(千円)	4,690,205	79.1

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 第2四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しております。なお、前年同期との比較については、前年同期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。
 4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第3四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。